

大正13年から昭和15年までの生徒の「學年成績報告書」です。といっても、一人ひとりの詳細な成績が記載されているわけではなく、学年ごとに、及第者、落第者などの人数や氏名、成績優秀者や皆勤賞などの受賞者、そして卒業生の氏名が丁寧に手書きで記されています。

表紙と裏表紙には鳩目が打たれた少し厚めの紙が使われており、中の紙は縦に罫線が引かれた薄い原稿用紙で、黒の綴り紐を使って綴られています。新しいものは裏から足しています。17年間分で約6センチの厚みがあります。

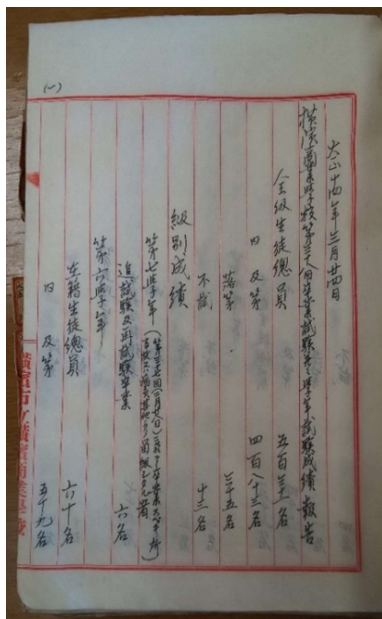


赤い罫線が引かれた大正13年の原稿用紙の中央下部分にある学校名は「横濱商業學校」、大正14年からは「横濱市立横濱商業學校」となっており、毎年新しい原稿用紙を作成していたことがうかがえます。大正14年までは7学年分の生徒の記載があり、大正15年になると本科が5学年まで、専修科が2学年となっています。昭和5年には、現在の横浜市立大学の前身である「横濱市立横濱商業専門學校(呼称:Y専)」の学年成績報告が青い原稿用紙で現れます。下の写真の右側にあるのは、その横濱商業専門學校第一期生の卒業生が記されているものです。

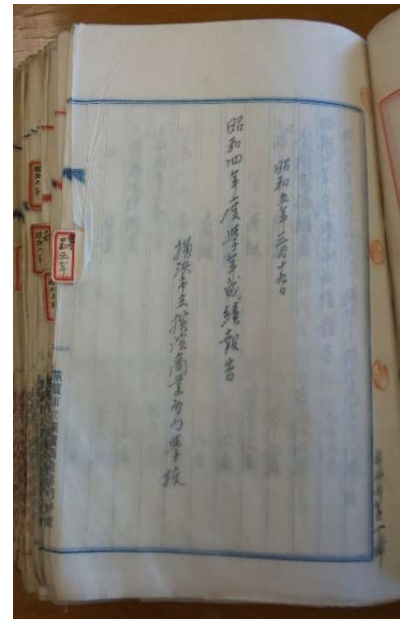
Y校の卒業生はいろは順に並んでいますが、Y専では昭和7年の卒業生からABC順となっています。

お休みをせず頑張った「一学年間欠席遅刻早退欠課なくして皆勤成績佳良に付第〇回美澤皆勤賞を得る者」だけでなく、「級長の職務良好にして賞せらるるもの」という賞もありました。

日露戦争で戦死を遂げたY校出身者十二名は、桜木町にある伊勢山皇大神宮に乃木希典將軍の揮毫による表忠碑が建立され祀られています。そのうちの三名(一時期四名)による「在学間成績優秀につき故北村、人見、石川 三歩兵中尉(田辺歩兵伍長)の奨学賞を受くる者」という奨学金もあったことが記されていました。



Y校



Y専